

S L Aは生活の一部

2003年でしたか、新聞で目にしたのがS L A受講生募集でした。14年前で、定年後の再就職中のことです。……二度目の勤めもいずれは辞めるが、その後どう過ごすか……時々は考えたりしていた時の事でした。

1周遅れの参加のような気持もしたのですが、受講してS L Aに参加しました。実質参加は仕事を辞めてからですが、ボランティア参加が初めてである私にも、S L Aは懐深く受け入れて貰ったと思っています。

S L A参加後の生活ですが、地域に全くかかわりのなかった私にとって、S L Aでの学びを実践することで、地域の中で直接的に人との関係もできました。又、インフォーマルな支援の役割を少々ですが果たすこともできています。

私がS L Aから貰う経験資産は、今でも増え続けています。この資産を使うためには、自分の生活内容を律しながら、健康寿命を延ばすことだとおもっています。

「現在生きていることの幸せ」を、いつまでもS L Aから分けて貰えるよう、会員の人の生活領域からの相互補完関係を願い、自分に出来る範囲での活動を続けるつもりです。